

平成 25 年 5 月 20 日

社会福祉法人魚野福祉会

理事長 本 田 建 一 様

監事 横 山 雄 次

監事 高 橋 威



### 監 査 の 結 果 に つ い て ( 報 告 )

社会福祉法人魚野福祉会定款 11 条第 1 項の規定に基づき、平成 24 年度社会福祉法人魚野福祉会の事業執行状況及び収支決算と財産の状況について監査を実施しましたので、同条第 2 項の規定により報告します。

#### 記

- 1 監査の対象 平成 24 年度社会福祉法人魚野福祉会の業務執行状況及び収支決算書と財産の状況
- 2 監査の日 平成 25 年 5 月 16 日
- 3 監査の実施場所 うおの園
- 4 監査の結果

平成 24 年度社会福祉法人魚野福祉会の事業報告書及び収支決算書・貸借対照表・財産目録並びに付属関係書類について内容を精査した結果  
(事業活動) は

うおの園・やまなみの両施設とも「優しさと思いやり」の基本理念のもとに、入居者が安全と安心した日常生活が送られるように、職員と家族会や支援者が一体となって事業活動に取り組まれている努力が伺えます。これからも入居者に対し更によりよい対応や信頼関係を強めるため各職種間の連携を密にして、それぞれの課題を整理しながらサービスの質の向上を目指して事業の推進に努めてほしい。

(収支決算) は

- (1) 会計区分全体の収支では、事業活動収支差額（営業利益）は 301.981 円の赤字ですが、事業活動外収支の経常収支差額（経常利益）の方は医療法人魚野会から出向者の人件費受け入れなどにより、21.870.189 円の黒字となっています。この外に特別収支の他会計区分繰入金や繰出金などの収支を含めた全体の当期活動収支差額（当期純利益）は 20.032.376 円の黒字決算となっています。なお、貸借対照表での負債と純資産の関係については、長期借入金の返済などにより純資産額（自己資本）の比率が年々大きくなっていることが伺います。

(2) 各会計区分の収支では

① (法人本部会計) は、

医療法人魚野会への出向者を含む職員の人件費と管理業務経費が主な支出内容で、その外に当年度は奨学金貸与免除費 1.451.713 円が特別損失として支出されています。収入については出向者の人件費 35.192.332 円を医療法人魚野会から受入れ、職員の人件費と管理業務の経費 5.938.247 円はうおの園会計から繰入れて運営されていますが、当期活動収支差額では 901.530 円の黒字決算となっています。

② (特別養護老人ホームうおの園会計) は、

魚沼市全体の高齢者施設の待機者が 470 名と多くなっている状況で、うおの園では入居定員がロング 70 名ショート 16 名で運営されています。24 年度の利用稼働率はロング入所 97.8%ショート入所 100.4%と高稼働率で推移されており介護料収入の増収要因となっていますが、更に施設利用の効率運営の取組や一般管理経費の節減などにより事業活動収支差額(営業利益)は 45.517.425 円の黒字となっています。この外に事業活動外収支の長期借入金の利息返済 8.900.381 円の支出や特別収支では従前年度と同様に他会計区分への繰出し 14.062.618 円などもあり、当期活動収支差額(当期純利益)は 23.009.383 円の黒字決算となっています。

③ (ケアハウスやまなみ会計) は

入居者は満室入居の 30 名でこの内介護を要する特定入居者が 19 名となっています。前年度から特定入居者を増やすなど収入面の増加に努力されたこともあり、居宅介護料の増収などで事業活動収支差額(営業利益)は前年度よりも改善され 6.256.701 円の赤字となっています。この外に事業活動外収支では長期借入金の利息 5.882.146 円の支出や特別収支ではうおの園会計から運営経費 8.124.371 円の繰入れなどがありますが、当期活動収支差額(当期純利益)は 3.878.536 円の赤字決算となっています。

以上の会計決算について内容を精査しましたが、いずれも関連する法令や通知に従って処理されておりましたので、正当なものと認めました。